保証書

食器乾燥器保証書

持込修理

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。

型　名	EY-KA50
●お客様 お名前	☎
●お客様 ご住所　〒	
●お買い上げ日　年　月　日	●販売店名・住所
保証期間 お買い上げ日より 本体1年	☎

修理メモ

●印欄に記入のない場合は無効となりますから、必ずご確認ください。

1.ご転居・ご贈答などで、お買い上げ販売店にお申しつけできない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にお申しつけください。
2.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）使用上の誤り、および改造や不当な修理による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
（ハ）火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、および公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧・指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障および損傷。
（ニ）一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車輌・船舶へのとう載）に使用された場合の故障および損傷。
（ホ）本書のご提示がない場合。
（ヘ）本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。
（ト）消耗品などの交換。
3.本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
4.本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保存してください。

●お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
●この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

象印マホービン株式会社
〒530-8511　大阪市北区天満1丁目20番5号　☎(06)6356-2451

愛情点検　**長年ご使用の食器乾燥器の点検を!**

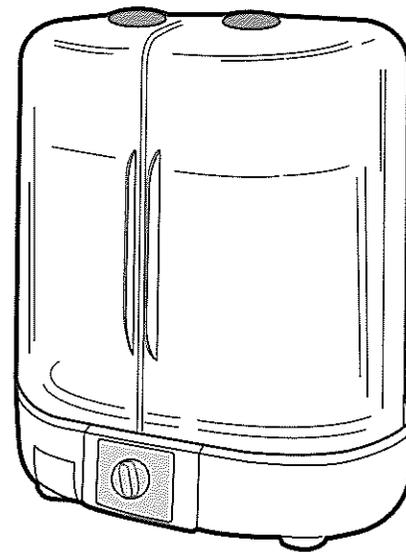
こんな症状はありませんか
●電源を入れても運転しなかったり、途中で止まったりする
●ご使用中コード・差込みプラグが異常に熱くなる
●食器乾燥中、異常な音や振動がする
●本体が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする
●その他の異常や故障がある

こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検（有料）をご相談ください。

家庭用

食器乾燥器

型名 EY-KA50 型

取扱説明書

●このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保存してください。

保証書つき

もくじ

安全上のご注意　必ずお守りください

- ここに表した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠警告　取り扱いを誤った場合、死亡または重傷※1を負うことが想定される内容を表します。

取り扱いを誤った場合、傷害※2または物的損害※3の発生が想定される内容を表します。

※1 重傷とは、失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。

注意　△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な注意内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

禁止　⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。具体的な禁止内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

指示　●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。具体的な指示内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

⚠警告

分解禁止

改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない

火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の恐れがあります。

禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがをする恐れがあります。

禁止

交流100V以外では使用しない

火災・感電の原因になります。

禁止

コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

コードを傷つけない

無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

必ず実施

定格15A以上のコンセントを単独で使う

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

必ず実施

異常・故障時には、直ちに使用を中止する

そのまま使用すると発煙・発火・感電・けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>
- コードや差込みプラグが異常に熱い
- コードに深い傷や変形がある
- 電源を入れても動かない
- コードを動かすと、通電したり、しなかったりする
- ビリビリと電気を感じる
- 焦げくさいにおいがする
- 食器乾燥中に異常な音や振動がする　など

このような場合は、すぐに差込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する

⚠注意

接触禁止

使用中、使用直後は内部が熱いので触らない

やけどの恐れがあります。

差込みプラグを抜く

使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

禁止

ガスコンロなどの炎や熱気のあたる場所に置かない

火災の原因になります。

必ず実施

差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く

感電やショートして発火することがあります。

お願い

傾いたところでは使用しない

乾燥不良や排水不良の原因になります。

温風吹出口に物や水を入れない また温風吹出口を食器などでふさがない

故障・変形や乾燥効率の低下の原因になります。

付属の食器かご以外のものは使用しない

故障・変形・変色の原因になります。

とびらや排気口にふきんなどをのせない

故障・変形の原因になります。

漆器、熱に弱い樹脂製や銀製の食器類、厚さの変化の大きいカットグラスなどは入れない

食器類の変形・変色・破損の原因になります。

吸気口・排気口はふさがない

故障・変形や乾燥効率の低下の原因になります。

- お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

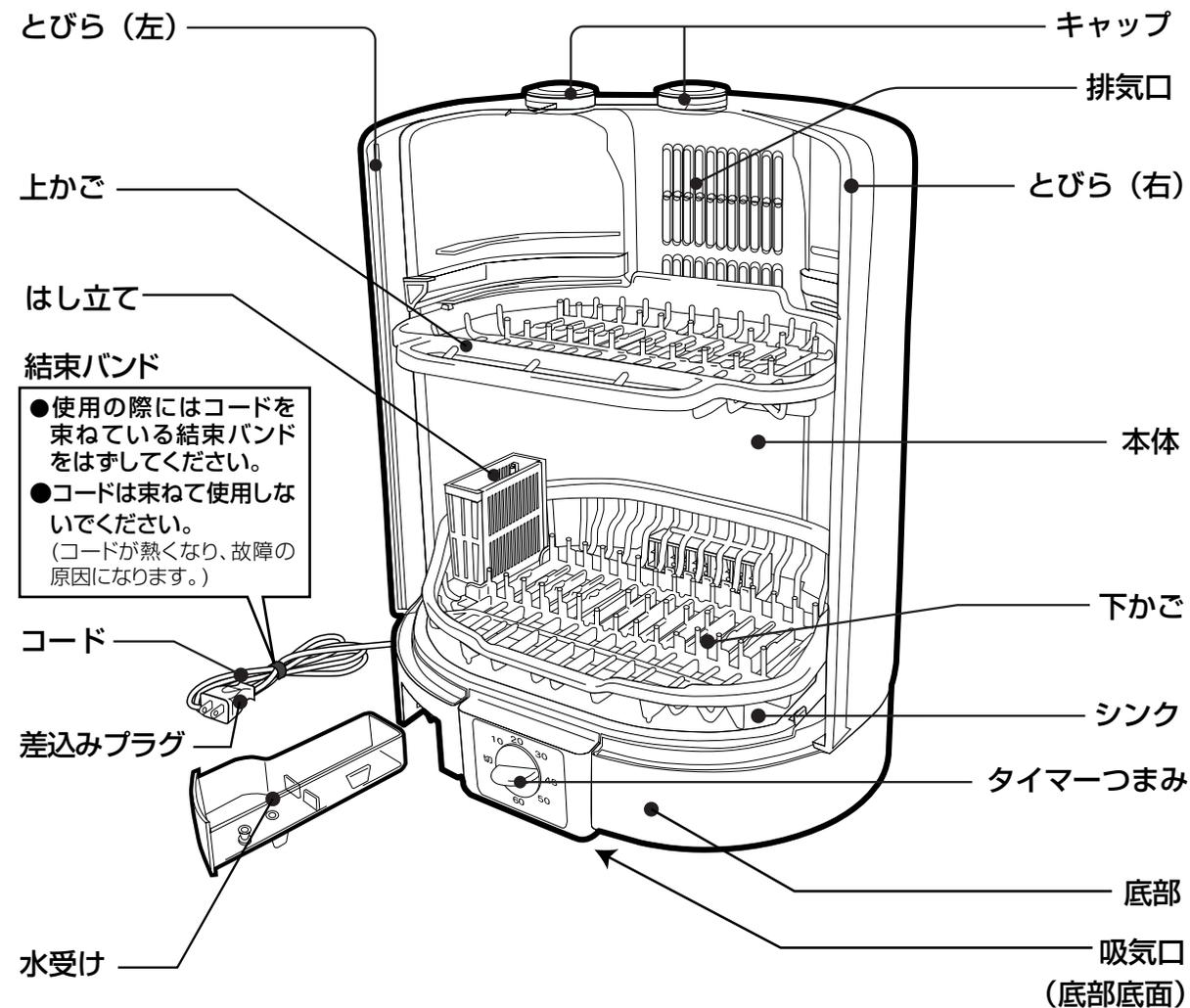
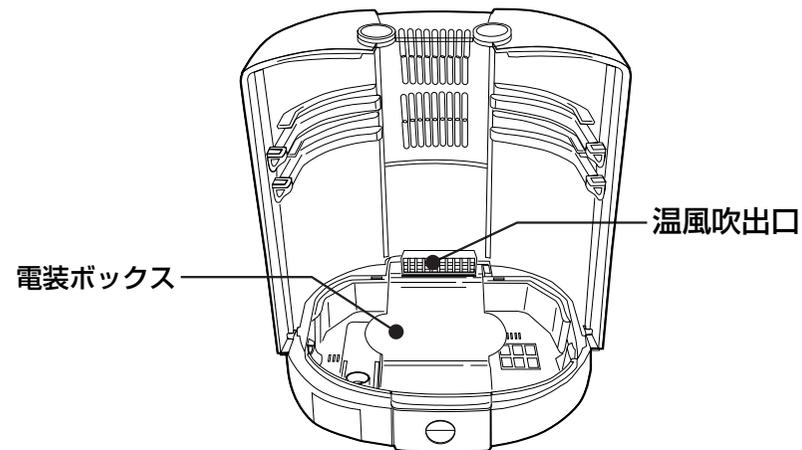
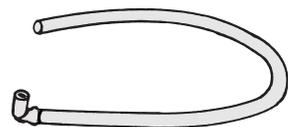
各部のなまえ

とびら（左）
キャップ
排気口
上かご
とびら（右）
はし立て
結束バンド

●使用の際にはコードを束ねている結束バンドをはずしてください。
●コードは束ねて使用しないでください。
（コードが熱くなり、故障の原因になります。）

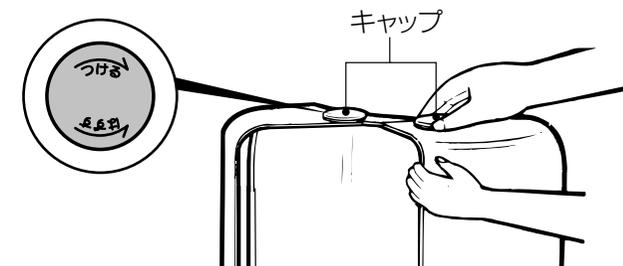
本体
下かご
コード
シンク
差込みプラグ
タイマーつまみ
底部
水受け
吸気口
（底部底面）

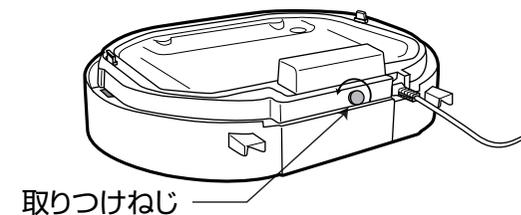
付属品　排水パイプ

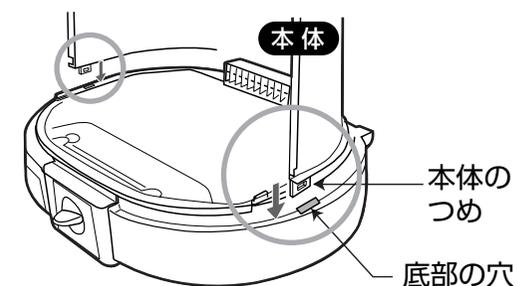
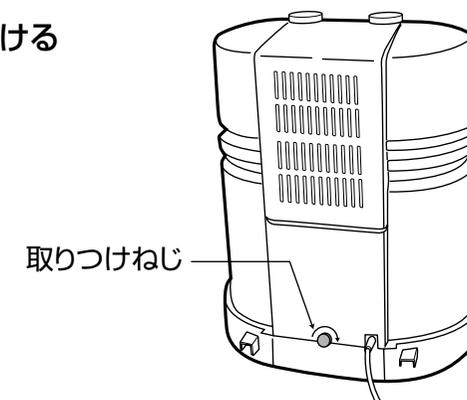
温風吹出口
電装ボックス

準 備

●この製品は分解した状態で梱包されています。このページを参考に順番に組み立ててください。
●ご使用の前に梱包材を取り除いてください。
●本体·とびらなどは、ていねいに取り扱ってください。（破損や傷の原因になります。）

1.とびらをはずす

①とびらの上部についているキャップ（2個）を『はずす』の方向に回してはずす
②とびらを本体からはずす

2.本体を底部に取りつける

①底部背面の取りつけねじをはずす

②本体のつめ（左右2ヵ所）を底部の穴に上から差し込む

●カチッとなるまで確実に左右のつめを差し込んでください。

③底部背面に取りつけねじを取りつける

3.とびらを取りつける

①とびらの凸部3カ所を、とびらを閉じたときの位置より矢印の方向へスライドさせ、本体レールに取りつける

②とびらの上部を本体リブにはめ込む

③とびらの上部にキャップを『つける』の方向に回し取りつける

■排水方法について

■排水パイプを使用しない場合

水受けにたまった水を毎回ご使用後にすてる

●水受け栓が穴(A)に確実にセットされていることを確認してください。

■排水パイプを使用する場合

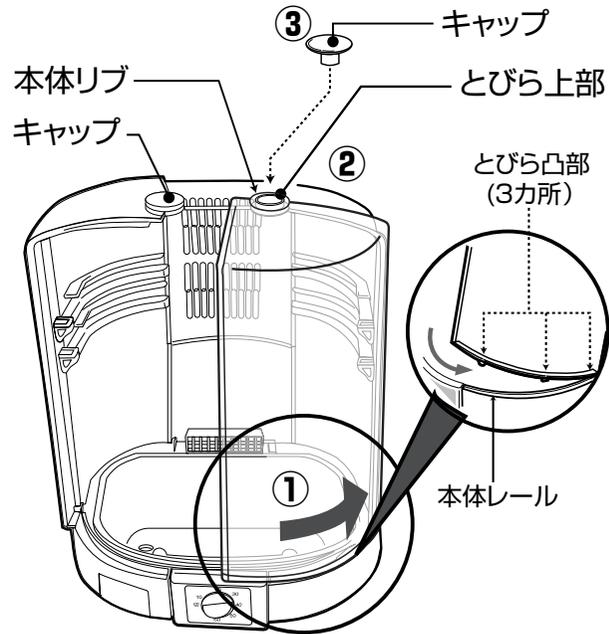
排水パイプを取りつけて、排水パイプの先を流し台のシンクにたらす

(水受けにたまった水をすてる手間がはぶけます。)

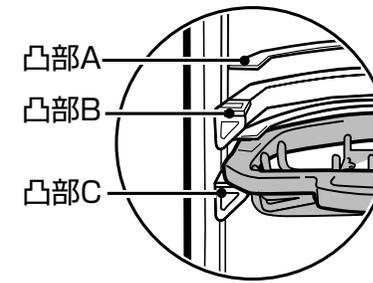
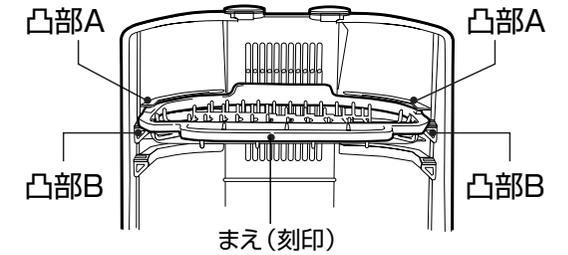
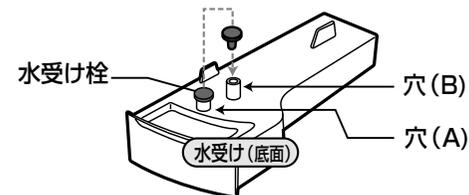
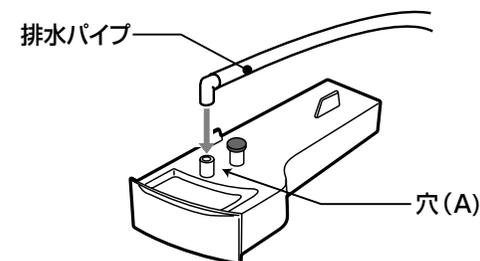
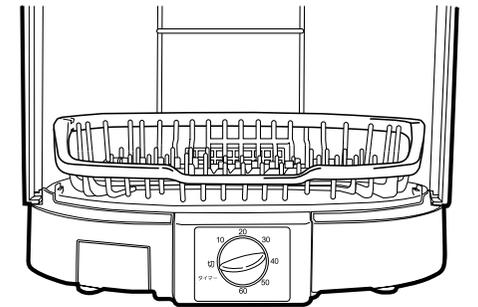
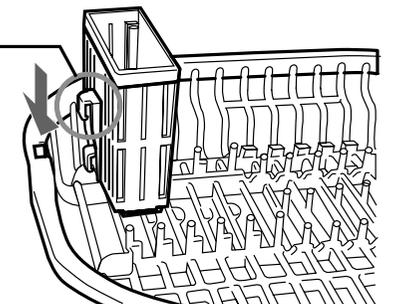
●排水パイプは確実に取りつけてください。

●排水パイプは途中で折れたり、製品のあしでふみつぶされたりしないように取りつけてください。
(排水パイプから水が流れにくくなり、水受けにたまって、水があふれる恐れがあります。)

■排水パイプの取りつけ方

❶水受け底面の水受け栓を穴(A)からはずし、穴(B)に取りつける

❷穴(A)に排水パイプを取りつける

4.食器かご・はし立てを取りつける

①上かごを本体の凸部Aと凸部Bの間(上段)にカチッとなるまで確実に取りつける

■凸部Bと凸部Cの間(下段)に取りつけることもできます。

②下かごをシンクの上にのせる

③はし立てを下かごの穴(左側)に取りつける

使い方

●初めてお使いになる前に、本体･シンク･とびらを乾いた柔らかい布でふいてください。また、食器かご･はし立ては、水洗いして乾燥させてください。
●使い始めに少しにおいが出ることがありますが、異常ではありません。

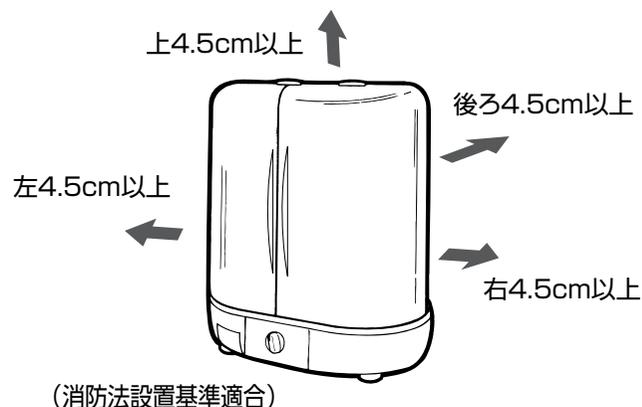
1 設置する

設置場所について

- 壁や燃えやすいもの（可燃物）から、右図の寸法を離して設置すること
- 製品の前面は、開放すること
- 平らな場所に設置すること

●油の付着しやすい場所に設置しないこと

上4.5cm以上
後ろ4.5cm以上
左4.5cm以上
右4.5cm以上

（消防法設置基準適合）

2 食器を入れ、ふたを閉める

①食器の水をよく切り、倒れないように並べる
（P.10～11『食器の入れ方』参照）

②とびらを閉める

●上かご･下かごが本体に確実にセットされているか確認してから食器を入れてください。

◆早く乾燥させるコツ◆

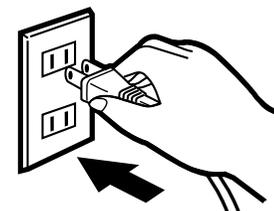
☆食器と食器の間を少しあけて、温風の流れを良くする
☆食器を湯で洗って入れる
☆食器（特に糸じり）はよく水を切ってから入れる

ご注意

- **包丁は入れないでください。**（けがの原因）
- **食器を入れた状態での食器かごの出し入れや、持ち運びはしないでください。**（けがや食器かごの変形･破損の原因）
- **食器は入れ過ぎないでください。**（変形･破損や乾燥効率の低下の原因）
- **食器を入れるときは、食器で温風吹出口をふさがないでください。**（変形･故障の原因）
- **とびらは確実に閉めてください。**（乾燥効率の低下の原因）
- **食器はきれいに洗って入れてください。**（においや乾燥効率の低下の原因）
- **熱に弱いものや以下の食器は入れないでください。**
  - ･ひびの入った食器　･漆塗りの食器　･銀製の食器類
  - ･厚さの変化の大きいガラス食器（カットグラス･クリスタル）など
  - ･熱に弱い樹脂製食器類
    （耐熱温度90℃以下のもの･スチロール製のもの
    耐熱温度表示のないもの）

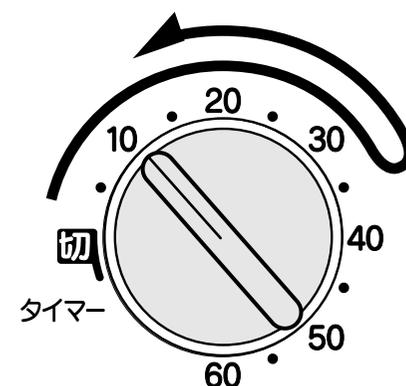
  （食器類の変形･変色･破損の原因）
- **はし･フォーク･スプーン類は、奥に倒して入れてください。**（とびらの傷つきの原因）

- **乾いたまな板や耐熱温度が90℃以下のまな板は入れないでください。**（まな板のひび･変形の原因）

3 差込みプラグをコンセントに接続する

4 タイマーで乾燥時間をセットする

タイマーを右に回し、乾燥時間をセットすると乾燥が始まります。

●タイマーは「60」までセットできます。
「20」以内にセットするときは、一度「30」以上回してから、希望の時間にセットしてください。

●途中で乾燥を中止するときは、タイマーを「切」に戻してください。次にタイマーをセットする際、ぜんまい音（カチカチカチ……）がしなくなりますが、タイマーは正常に働いていますのでそのままお使いください。

●標準乾燥時間はP.10～11の入れ方で約45分です。
ただし、室温･湿度･食器の入れ方･形状などによりかわります。

5 乾燥終了後

タイマーが「切」の位置になると乾燥が終了し、電源が切れます。

●乾燥中、乾燥直後（約30分）は、食器類や食器かご･温風吹出口･はし立て･シンクなどが熱くなっていますので、やけどに注意してください。

●乾燥が不足しているときは、追加乾燥してください。
●乾燥終了後、使用しない場合は、差込みプラグを抜いてください。
●食器類はまとめて取り出さずひとつずつていねいに取り出してください。
（食器類の破損の恐れ）
●排水パイプを使用しない場合、水受けにたまった水は、乾燥終了ごとにすててください。
その際、水受けを勢いよく引き出すと、中にたまった水がこぼれることがありますので注意してください。
●乾燥終了後、乾燥状態によっては、シンクに水が若干残ることがあります。

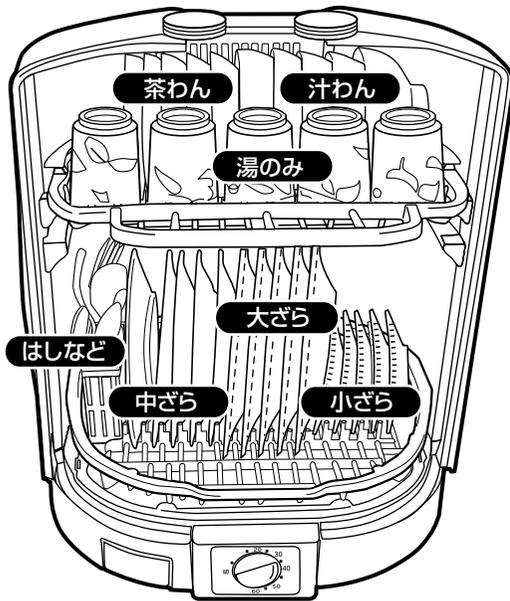
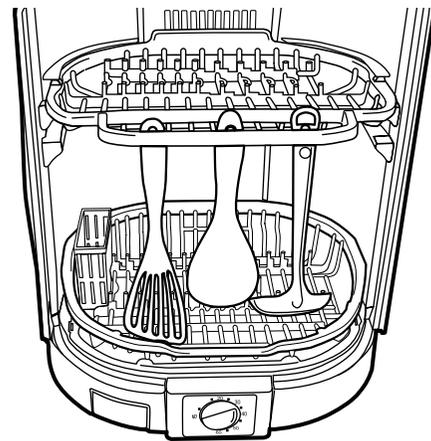
食器の入れ方

■標準食器の入れ方（5人分）

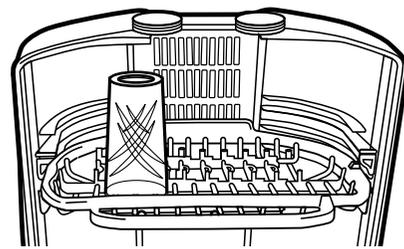
●食器の形状によっては、立てて置けない物もあります。

まな板なしの場合

まな板ありの場合

●まな板を入れると大ざらは入りません。
●まな板を出し入れするとき、上かごがはずれないように注意してください。

キッチンツールの入れ方

●キッチンツールとまな板を一緒に入れないでください。
とびらに傷がつく原因になります。
●キッチンツールの形状によっては、つるせない物もあります。また、人数分の食器が入らない場合もあります。
●先端部の大きな物は入れないでください。とびらに傷がつく原因になります。
●キッチンツールを出し入れするときに、上かごがはずれないように注意してください。

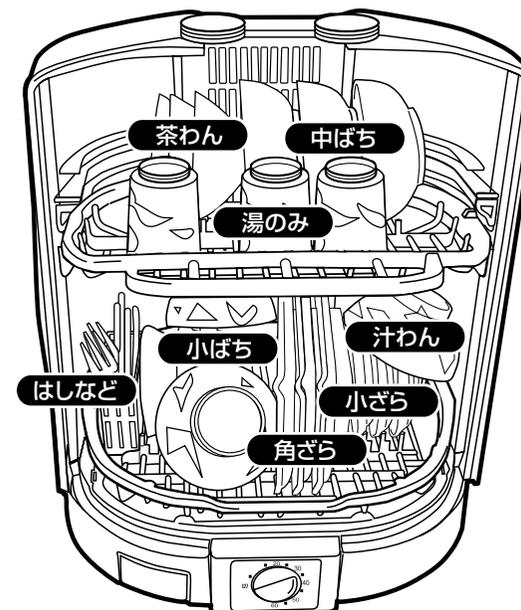
上かごを下段にセットした場合

●少し背の高いグラス（16cm以下）が入れられます。
●長いはしは、入らない場合があります。

標準食器量（5人分）

標準食器（日本電機工業会自主基準による）

食器の種類	まな板なし 上かご上段の場合	まな板なし 上かご下段の場合	まな板ありの場合
大ざら（19～24cm）	5枚	——	——
中ざら（16～19cm）	5枚	10枚	10枚
小ざら（16cm以下）	5枚	5枚	5枚
茶わん	5個	5個	5個
汁わん	5個	5個	5個
湯のみ（コップ）	5個	5個	5個
はし・スプーン・フォークなど	5人分	5人分	5人分
まな板（最大 幅21×長さ37×厚さ1.5cm）	——	——	1枚

■和食器の入れ方（3人分）

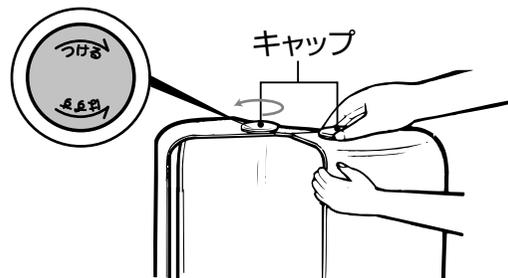
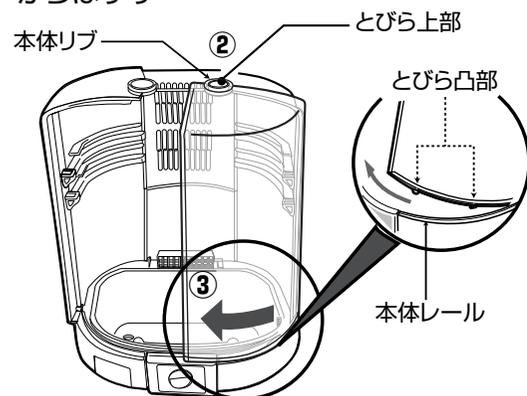
●食器の形状によっては、立てて置けない物もあります。

●汁わんは小ばちなどの上に伏せて入れてください。
●茶わん・小ばちは左づめ、中ばち・角ざらは1個おきに入れた方が整理できます。
●まな板は入りません。

和食器量（3人分）	
角ざら	3枚
中ばち	3個
小ばち	3個
小ざら（16cm以下）	3枚
茶わん	3個
汁わん	3個
湯のみ（コップ）	3個
はし・スプーン・フォークなど	3人分

分解/組み立て方法

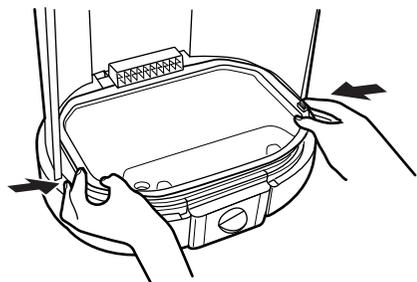
製品の分解方法

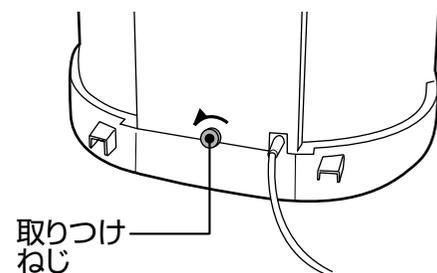
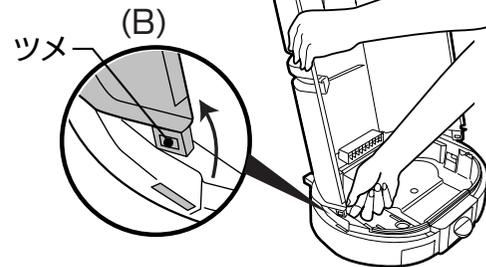
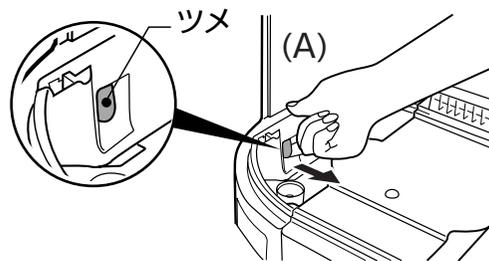
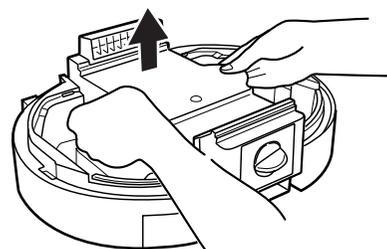
1.とびらをはずす

①とびらの上のキャップ(2個)を「はずす」の方向に回してはずす

②とびら上部を少し持ち上げ、本体のリブからはずす

③とびらを矢印の方向へスライドさせ、とびらの凸部を本体のレールよりはずす

2.はし立て・食器かごをはずす

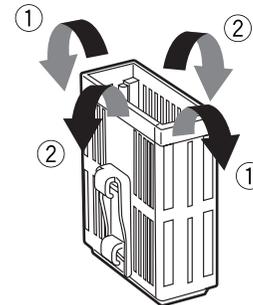
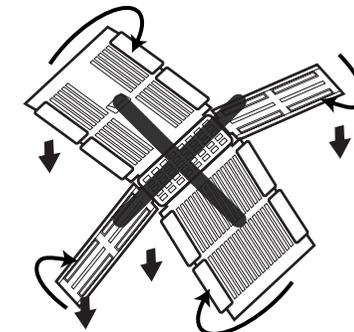
3.シンクをはずす

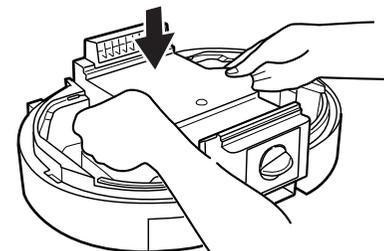
シンク側面のツメ(左右2カ所)を内側に押しながら持ち上げてはずす

4.本体をはずす

①本体背面の取りつけねじをはずす

②底部側面(内側)のツメを手前に引きながら(A)本体を持ち上げ、本体の左右2箇所のツメをはずす(B)

5.電装ボックスを持ち上げてはずす

はし立ての分解方法

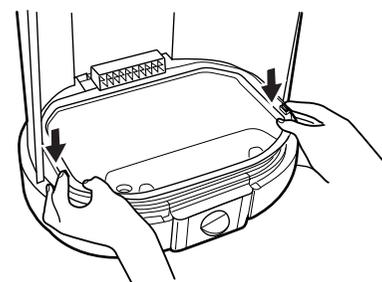
右図の番号順に分解する

●はし立てを分解すると細かい部分までお手入れができます。

●組み立てるときは分解方法の逆の手順で行ってください。

●分解した状態で下方向や横方向に力を加えないでください。(破損の原因)

製品の組み立て方法

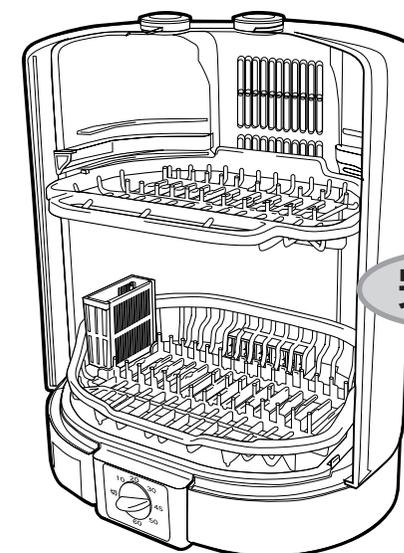
1.底部に電装ボックスを取りつける

2.本体を底部に取りつける

(P.5『準備2』参照)

3.シンクを取りつける

シンクを取りつけるときは、カチッとなるまで**シンクのツメを左右とも確実に**差し込んでください。

4.とびらを取りつける

(P.6『準備3』参照)

5.食器かごを取りつけ、はし立てを取りつける

お手入れ

差込みプラグをコンセントより抜き、温風吹出口が冷めてから始めてください。

なまえ	方法
食器かご・水受け はし立て・底部・本体 とびら・シンク・キャップ	スポンジで水洗いし、水気をふき取る ●水アカなどにより、汚れやすいのでこまめにお手入れしてください。
電装ボックス	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固くしぼり汚れをふき取る ②水でしぼった布でふく ③乾いた柔らかい布で水気をふき取る
コード・差込みプラグ	乾いた柔らかい布でふく
排水パイプ	台所用中性洗剤を入れたぬるま湯で洗い、よく乾燥させる ●水アカなどにより、汚れやすいのでこまめにお手入れしてください。

●電装ボックスや温風吹出口に**直接水をかけたり、丸洗いは絶対にしない**でください。感電や故障の原因になります。

●シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし類（ナイロン・金属製など）・台所用以外の洗剤・漂白剤などは使わないでください。また化学ぞうきんを使用する場合は、強くふいたり長時間触れさせたりしないでください。表面を傷つけたり、化学変化を起こしたりする原因になります。

●保管するときは、ポリ袋をかぶせて箱に入れ、高温・多湿の場所をさけて保管してください。その際、製品が汚れていないか、よく乾燥しているかを確認してください。

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、一度お調べください。

症状	原因	処置
乾燥状態が悪い	食器を入れる間隔がつまっていませんか?	間を少しあけて入れてください。
	食器を入れすぎていませんか?	食器を減らしてください。
	排気口がふさがっていませんか?	ふさいでいるものを取り除いてください。
シンクに水がたまる	平らな場所に設置されていますか?	平らな場所に設置してください。
水もれする	水受けの水をすてていますか?	こまめに水受けの水をすててください。
	排水パイプがはずれていませんか?	排水パイプを正しく取りつけてください。
	水受け栓の取りつけ位置が間違っていませんか?	水受け栓を正しく取りつけてください。
運転しない	電装ボックスが底部に確実にセットされていますか?	確実にセットしてください。

仕様

型名	EY-KA50
電源	交流100V 50/60Hz
消費電力	290W
温度ヒューズ	192℃
コードの長さ	1.8m
外形寸法(約cm)	幅40.5×奥行33.5×高さ50.5
質量(約kg)	4.1

●この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC 100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary. After sales-service for this appliance is not available outside of Japan.

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3. 修理をお申しつけされるとき

≪保証期間中≫
製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

≪保証期間を経過しているとき≫
修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後5年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。
ご転居やご贈答などでお困りの場合、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ホームページのご案内

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ
http://www.zojirushi-de-shopping.com/

お客様ご相談センター ナビダイヤル 0570-011874 市内通話料金でご利用いただけます
受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
●携帯電話・PHS・IP電話など(ナビダイヤルが利用できない電話)でのお問い合わせ……………… Tel (06)6356-2451
●ファクシミリでのお問い合わせ……… Fax (06)6356-6143
製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。
〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承願います。